

イベントレポート

通常開園スタート・サル舎オープン(3月20日)

今シーズンの通常開園がスタート。開園セレモニーでは、穂積市長のほか、ネーミングライツ・パートナーである秋田銀行の新谷頭取にもご出席いただきました。

また、2020年10月に完成した新しいサル舎～天空の楽猿～のオープニングセレモニーや、秋田公立美術大学との連携による「大森山アートプロジェクト」で制作したサルの生態や進化を表現した壁画なども発表しました。

「天空の楽猿」
オープニング
セレモニー



壁画はサル舎
屋内展示場に
設置しています

飼育の日イベント(4月18日)

4月19日の飼育の日に合わせ、普段は実施していないワシミズクなどのエサやり体験やニシアメ리카オオコノハズクの腕乗せ体験などを行いました。

また、飼育員によるキーパーズトークでは、「動物を飼育する上で大切にしていること」「正直大変なこと」「うれしいこと」など、飼育員のここだけの話をテーマに、座談会形式でお話しました。



コノハズクの腕乗せ体験



キーパーズトーク

どうぶつの園長☆決定戦

ゴールデンウィーク期間中、立候補した12種類の動物たちの中から「どうぶつの園長」を決める「どうぶつの園長☆決定戦」を開催しました。来園者による投票の結果、見事1位に選ばれたのは、ユキヒョウのリヒトで、2位はレッサーパンダのかんた、3位はコツメカワウソのキトラでした。

また、どうぶつの園長就任記念として、立候補した動物たちの紹介のほか、リヒト園長の歩みを振り返るパネル展も開催しました。



園内に掲示した選挙ポスター



パネル展の様子

スタックスの共同栽培(5月11日～7月13日)

今年も地域の学校と協力し飼料作物スタックスの栽培・収穫を行いました。今回は浜田小学校と栗田支援学校の3年生20名が参加し、5月に堆肥の散布と種まき、7月に収穫作業を行いました。

初めは慣れない作業で恐る恐る刈り取っていた児童たちでしたが、時間とともに上手になり、気付けば運搬用の一輪車はいっぱいになっていました。スタックスは、アフリカゾウのリリーにプレゼント。無事に給餌体験を終えると、児童たちは満面の笑みを浮かべていました。



収穫作業



スタックスを
リリーに
プレゼント

第44回 親と子のふれあい写生大会(7月19日~8月8日)

園内での密集を避けるため、今回も画用紙を配布して参加者が自宅で作品を制作しました。提出された336点から、秋田市造形教育研究会による審査で、40点が入賞作品として選出され、市長賞など上位3賞には、新屋ガラス工房に制作いただいたオモリントロフィーを贈呈しました。

市長賞



秋田市立土崎小学校 4年
松田 明日夢 「サル密」

秋田市議会議長賞



秋田市立旭南小学校 1年
古谷 心春 「水中ハンター、カワウソ」

秋田市教育長賞



秋田市立桜小学校 6年
鈴木 怜 「水の中は、気持ちいいなあ」

第47回 サマースクール(7月27日~29日)

参加した小学生29名は、各学年に分かれて獣舎の清掃やエサ作りなど、動物の飼育作業を体験し、体験後は、担当した動物の生態をまとめました。参加した子どもたちからは、「エサやりが楽しかった」「掃除が大変だった」「また動物のお世話をしたい」などの声が聞かれ、充実した体験ができた様子でした。



ペンギンの
展示場を
ピカピカに



キリンへの
エサやり

夜の動物園(8月11日~16日 ※13日を除く)

アムールトラの
カサンドラ



サル舎
「天空の楽猿」

今年も動物たちの体調を考慮して13日をお休みとし、5日間の夜の動物園を開催しました。新型コロナウイルス対策のため動物イベントは開催できませんでしたが、期間を通して約23,000人が来園し、日中とは違う夜の動物園の雰囲気をお楽しみいただきました。

今後のイベント
(予定)

11月28日(日)「さよなら感謝祭」

2022年1月8日(土)~2月27日(日)の土日祝日「雪の動物園」